

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2004-334081
起案日 平成20年 5月27日
特許庁審査官 高橋 祐介
特許出願人代理人 萩島 良則 様
適用条文 第29条第2項



この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の特許公報に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (刊行物については引用文献等一覽参照)

- ・請求項 1
- ・刊行物 1
- ・備考

刊行物1には、アクセル開度と補助ブレーキの使用に関する情報とに基づいてアクセル開度ゼロ状態（エンジンブレーキを作動させている状態）かつ補助ブレーキ使用状態で走行した累積走行時間を算出し、記憶することが記載されている。（【0012】、【0014】、図1を参照。）

刊行物1記載の発明は、開度ゼロ状態の累積走行時間を記録しているから、上記累積走行時間からアクセル開度ゼロ状態かつ補助ブレーキ不使用状態で走行した累積走行時間を算出することは、当業者にとって格別の創意を要するものではない。

また、累積走行時間に代えて累積走行距離を算出、記憶するものとするのは、単なる設計変更にすぎない。

- ・請求項 2, 3

・刊行物 1

・備考

アクセル開度ゼロ状態が、燃料流量が所定設定値未満となったとき、かつ又は、アクセル開度が略ゼロとなったときとすることは、当業者であれば当然考慮すべきものである。(必要であれば、特開2003-40054号公報(【0030】)、特開2001-82243号公報(【0027】)、特開2001-342877号公報(【0053】)、等を参照されたい。)

また、車速を所定車速に自動調整可能なオートクルーズシステムは単なる周知技術にすぎない。

・請求項 4

・刊行物 1, 2

・備考

刊行物2には、車速と経過時間とに基づいて累積走行距離を算出することが記載されており、(第14欄第11行から第19行を参照。)かかる限定的事項を刊行物1記載の発明に適用することは、当業者が容易になし得たものである。

・請求項 5

・刊行物 1, 2

・備考

刊行物2には、累積走行距離に関する情報を出力することができるプリンタが記載されており、(第14欄第1行から第7行、第15欄第11行から第13行を参照。)かかる限定的事項を刊行物1記載の発明に適用することは、当業者が容易になし得たものである。

引用文献等一覧

1. 特開 2003 - 106182 号公報

2. 特開昭 60 - 93174 号公報

(その他に例示した参考文献)

・ 特開 2003 - 40054 号公報

・ 特開 2001 - 82243 号公報

・ 特開 2001 - 342877 号公報

先行技術文献調査

・ 調査した分野 I P C F02D 1/00-45/00

発送日 平成20年 6月 3日

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません

。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望ございましたら次まで御連絡下さい。

特許審査第二部 動力機械 高橋 祐介

TEL. 03(3581)1101 内線 3355 FAX. 03(3580)6904